過重な納付金負担で依然として厳しい財政状況

7月23日に開催された第117回組合会において、
平成24年度の決算が可決・承認されましたので、お知らせします。

平成24年度収入支出決算概要表

健康保険

■収入

科目	決算額（百万円）
保険料	11,134
国庫負担金収入	4
調整保険料収入	222
国庫補助金収入	7
財政調整事業交付金	120
雑収入	786
合計	12,274
経常収入合計	11,932

■支出

科目	決算額（百万円）
事務費	176
保険給付費	5,081
納付金	5,162
保健事業費	251
還付金	1
財政調整事業拠出金	221
連合会費	3
その他	2
合計	10,897
経常支出合計	10,675

経常収支差引額	1,256

介護保険

■収入

科目	決算額（百万円）
介護保険料	1,078
繰越金他	48
合計	1,127

■支出

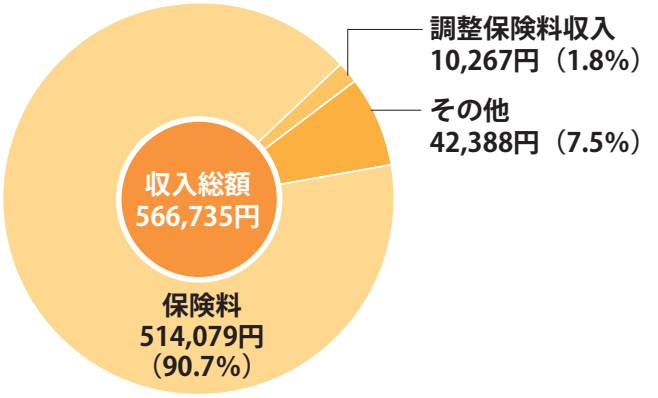
科目	決算額（百万円）
介護納付金	1,062
合計	1,062

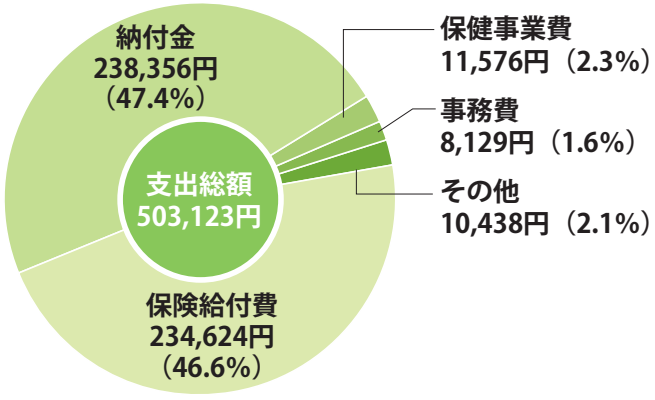
※四捨五入のため、一部合計の合わない箇所があります。

日頃は、健保運営にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

遅くなりましたが、当健保組合の平成24年度決算および平成25年度の予算をお知らせいたします。

平成24年度決算（健康保険）を1人当たりでみると…　（　）は収支の割合





平成25年度の予算の概要

平成25年度収入支出予算概要表

健康保険

■収入

科目	予算額（百万円）
保険料	11,134
調整保険料収入	227
繰越金	1,000
繰入金	700
国庫負担金収入等	57
合計	13,118
経常収入合計	11,146

■支出

科目	予算額（百万円）
事務費	93
保険給付費	5,397
納付金	5,601
保健事業費	338
財政調整事業拠出金等	233
予備費	1,456
合計	13,118
経常支出合計	11,435

経常収支差引額	▲290

介護保険

■収入

科目	予算額（百万円）
介護保険料	1,077
繰越金他	90
合計	1,167

■支出

科目	予算額（百万円）
介護納付金	1,073
積立金等	94
合計	1,167

合併初年度である平成 24 年度は、加入各社、被保険者のみなさまのご了解により保険料率を見直したことを主な要因として、予算に比べて保険料収入がやや上回り、医療費等の保険給付費がやや下回ったこと等もあって、12 億円余りの黒字を計上しました。

被保険者とご家族のみなさま、各事業所における健康維持、疾病予防のご努力に深く感謝申し上げます。

決算残金のうち、約 10 億円を翌年度事業費の一部となる繰越金としたうえで、今後の財政安定化のための別途積立金を 4 億円積増し、別途積立金残高は約 24 億円となりました。

平成 25 年度予算は、約 3 億円の赤字を見込み、別途積立金から 7 億円を繰入金として取崩しを織り込んでいます。平成 24 年度決算と比較していただくとおわかりいただけますとおり、国の高齢者医療制度等への納付金が、増加額、総額のいずれも医療費等の保険給付費を上回り、大きな負担増が財政を厳しくする要因となっています。

健康保険組合連合会の発表でも、全国約 1,400 の健保組合全体では、平成 24 年度決算で約 3 千億円の赤字を計上、600 以上の組合が保険料率を引上げて、平均では前年度比 0.36％上昇し 8.34％であったこと、平成 25 年度予算では 4,500 億円以上の赤字を見込むことが報道されております。

当健保組合でも、合併後 3 年間を財政均衡とする計画でスタートしましたが、75 歳以上の高齢者医療への納付金の算出方法が、人数比例と報酬比例の併用から全面的な報酬比例に見直される議論が行われるなど、想定を上回る負担増も懸念されます。

今後も、当健保組合をとりまく環境と現況をご理解いただけるよう努力いたしますので、みなさまにおかれましても、当健保組合の実施する人間ドック等健診補助も活用して、健康への気配りをさらに高めていただきますようお願いいたします。